

一月二七日

十三時半NHK国宝探訪打ち合わせ。シナリオがキチンと出来ていた。このプロダクションの人物はしつかりしている。佐藤論から今朝昨夜の会食の御礼の電話があった様だ。こいつもしつかりしてるな。地下の連中には無いなあ、こういうキチンとした感じが。口うるさく言っても仕方ない。GAHOUSES、室内、その他送られてくる。GAHOUSESに書かれている小さな作家論作品論を幾つか拾い読みして笑った。相変わらずの建築村のヒソヒソ言語で面白いのは一つも無かった。二川由夫もしつかりしてもらいたい。これなら一くくりして藤森照信に書かせた方がズッとまだ。GAは藤森のモノを掲載しないようだが、これもわかってネエな先が。中途半端なエリートマガジンが成立しない社会になっているのを直視しなくては、と俺は思うんだけど。

一月二八日

今日は晴れた。ガラス窓が一面に白くなっている。二重ガラスの部分だけだけれど、初めてのことだ。十時過大学、卒業設計採点。年々悪くなるな。修士設計に比重が移ったとはいえ地崩れが起きている。十三時半、シャープの方来室。丹羽君ホームページ編集会議。陸海博士論文相談。編集会議をしていると自分がいかに小さな人間であるかが身にしみて解るな。

十五時過ぎTVプロダクション取材。十八時過ぎ磯崎アトリエ。

磯崎さんに中国事情等うかがう。その後共に銀座へ。シャープ社長さん等と会食。二十二時前世田谷に戻る。地下でいささかの模様作りを楽しむ。○時前上にあがる。

建築は音楽のようにダイレクトに人を感動させたり、なくさめたりは出来ない。しかし凍れる音楽の例えもあるようにひどくゆっくりと、しかも長く持続して人間と関係を持つ。そのところをグイと抽出して、人に知らしめる事は出来ないのかな。

一月二九日

風が吹いている。烏山神社の杜の木々を大きく揺らしている。朝の地下室で オフィスのアイデアまとめる。十五時大学海光以下高山建築学校の面々、及び編集者来室。二時間弱のインタビュー。高山建築学校の事は遠い昔になったが、忘れようがない時間でもあった。十八時神田で馬場照道、毎日新聞朝日奈局長とメシ。

二十二時半世田谷村に戻る。